



執行役員

宮田 繁二郎

Shigejiro Miyata

競争に打ち勝つ技術

当社の創業の精神は「常に時流の一步先へ」です。これは、当社の企業理念の根幹に通ずる「当社独自の技術やスキルを集約し、常に得意な能力を磨き、お客さまの夢を実現させていきます」という熱い思いであり、先輩から受け継がれ、築き上げられてきた文化であり歴史であって、今後も若い世代の技術者の育成を通じ、永く継承されていかなければならないものです。

私たちを取り巻く環境は、地球規模で大きく変化しています。また、競争もグローバルになり、ますます激しさを増してきています。このような環境の中で、第4次中期経営計画の「どのような環境の変化にも左右されない安定的な利益を確保する」ための基本戦略である「製品のブランド力を高める」、「魅力ある製品を開発する」、「協業による相乗効果を活用する」は、この核となる当社独自の技術やスキルを基盤とし、競争に打ち勝つ方向を示す指針となっています。

一方、お客さまの夢はますます多様化してきています。その中でお客様の求める真の目的を的確につかみ、製品化する技術が重要になってきています。とりわけ、企業理念に基づく3つの技術の方向である「地球環境を守るための技術」、「新しいエネルギーの活用と省エネルギーのための技術」、「人の健康と安全を守るための技術」は、欧州のEMC指令やRoHS指令により正に現実のものとなり、当社においても省エネルギーや音の静かな製品が次々に製品化されています。今後もこの傾向はハイブリッドカーなどに代表される技術で、ますますその勢いを加速させてゆくものと思われます。

どんなにすばらしい研究や開発をしても、それらが実際の製品になるとは限りません。夢を実現させる技術、すなわち「もの作りのための技術」で製品の競争力が決まります。

もの作りのための技術の目的は、「良いものを、安く、早く買うこと」と、「良いものを、安く、早く作ること」です。

そのためには部品の選定など設計段階からの取り組みが欠かせません。加工、組立の技術は勿論ですが、さらに今までの固定観念を捨て、「無くせないか」、「簡単にできないか」、「結合できないか」、「入れ替えできないか」など、部品点数を少なく、シンプルで構造が簡単で組立しやすいものとなるまで、失敗を恐れずチャレンジする勇気、根気と粘りが必要です。

技術者自身が、現物、現実、現場を汗まみれ、埃まみれになって見て、聞いて、触って、成功するまでやりぬく執念と、どんな小さな変化も見落とさない集中力があれば、大きな成功につながると確信します。

失敗は成功の母、“Failure teaches success”です。

当社においての2005年の技術成果として、競争力のある新製品、技術の紹介が本誌にまとめられました。新製品にはその開発に携わった技術者たちの夢と、勇気が詰まっています。この技術がお客様の夢の実現につながることを確信しています。